

さっぽろ経済

札幌商工会議所

今年創立110周年を迎えます!

8

August 2016
VOL.684

特集

札幌商工会議所付属専門学校

企業が求める人材育成

トップの戦略 vol.52

株式会社 Jerop

代表取締役社長兼CEO 吉田 仁太郎氏

今月の表紙

株式会社テレビ北海道

松野 恵一さん

CSR 経営表彰

札幌商工会議所は、平成27年度にCSR(企業の社会的責任)活動に積極的に取り組む企業を表彰する「CSR経営表彰」を新設しました。受賞企業の取り組みをご紹介します。

貧困と環境問題の解決につながる バナナペーパー・プロジェクト

丸吉日新堂印刷株式会社

再生ペットボトルや間伐材などを使用した「エコ名刺」で全国に顧客を広げる丸吉日新堂印刷(株)。代表取締役の阿部晋也氏は、収穫後に廃棄されるバナナの茎でも紙が作れることを知り、エコ名刺の顧客であった環境コンサルタント ペオ・エクベリ氏と共に、平成23年にアフリカのザンビア共和国エンフエ村で「バナナペーパー・プロジェクト」をスタートした。

「エコな紙は多種多様にありますが、バナナペーパーは廃棄物を資源として有効活用するだけでなく、貧しい村に雇用の場を設け、生活環境の改善に寄与しています。当社としては、ボランティアではなく、また社会的評価を得ることを目的に取り組んでいるわけではありません。あくまでビジネスを通して、バナナペーパー製品が世界に普及し、地球が抱えるさまざまな問題を考える人が一人でも多く増えることを願っています」と阿部社長は語る。



住 札幌市豊平区平岸6条12丁目11-2
TEL 011-837-9636
WEB <http://www.nissindou.co.jp>

社会貢献部門

自社だけではバナナペーパーの需要拡大に限界があると考えた阿部社長は、日ごろの事業活動で競合にあたる紙製品メーカーや印刷会社に声をかけ、「ワンプラネット・ペーパー協議会」を発足。これにより多彩な製品が生まれ、意識の高い企業らの賛同・利用が着実に増えている。また今年1月にはザンビアにパルプ繊維工場が竣工。パルプ生産から紙製品づくりまで行えるようになり、現地での需要増に向けた環境整備が進められている。

高校生が地域で学ぶ機会づくりを！ 創作メニューコンテストをサポート

株式会社プランニング・ホッコー

「さっぽろ雪まつり」をはじめ、各種イベントの総合プロデューサーを手がける(株)プランニング・ホッコーは、平成25年より毎年札幌で開催されている「高校生チャレンジグルメコンテスト in HOKKAIDO」をサポートしている。この道内高校生による創作メニューコンテストは、単に食味を競うだけではないのが大きな特色。地域の食文化や産業を研究・発掘し、生産者や行政など学校外の人々とのかわりを通じ、自分たちの地域を見つめなおす「学び」の機会づくりとして、全国的にも例のない食育の取り組みと注目されている。

代表取締役社長の池崎潤氏は、「きっかけは、発案者の高校の先生が一人で開催準備に苦労されているのを知り、イベント会社ならではのお手伝いができるのではと考え、事務局として協賛企業募集や会場設営などボランティアで担当させていただきました。社会貢献への意識ありき



住 札幌市東区東苗穂5条1丁目6-33
TEL 011-780-5577
WEB <http://www.p-hokkoh.co.jp>

社会貢献部門

で始めたものではなく、当初は費用や人員の少なからぬ負担が、一部で不満の声もありましたが、高校生たちが慣れない調理や接客に奮闘する姿に心打たれ、「来年以降もずっと開催しよう」との思いが一つになっていきました」と語る。

今秋開催予定の第4回目は、札幌商工会議所が110周年記念事業として主催。新幹線延伸開業の年でもあり、本州の高校生チームをゲストとして招待するなど、さらに盛り上げる企画・運営準備が進められている。